

認定NPO法人アンケート

法人名：認定・埼玉県指定 NPO 法人メイあさかセンター

Q 活動している主な事業について教えてください。

定款より

子どもから高齢者まで、年齢・立場を超えて提携し、生涯学習社会・高齢社会・国際化社会、情報化社会について学習と活動を基に、調査・研究を推進すると共に、他団体活動の支援を行うことで、よりよい生活ができる地域づくりに寄与する。

達成するために

1. 小さな集い 月例会

高齢者(障害・認知症含め)音楽療法(リハビリテーションミュージック)

小さな集い 高齢者ミニデイサービス(朝霞市補助事業)ボランティアベースで運営

本町会場……………手芸・手作り・ボランティア活動

サテライトサロン…パソコンレッスン・シニア英会話教室・笑いヨガ

・手芸&編み物・お茶のみ・ミニ勉強会

2. 療育音楽を楽しむ会(知的障害児・者と高齢者)…音楽療法で仲間づくり

月例会・発表参加・年末「みんな集合！音楽で一日楽しく遊ぼう！」など、

障害児・者が主体的にかかわるように工夫された運営を試みている。

3. 絵を通じての友好 Friendly Relationship through Pictures

…マレーシアと日本の情操教育支援とグローバル人材育成事業

学校教育と連携して、絵画等の作品を提供いただき渡航し、相互に交換し、教室から教室へとつなぐ。朝霞市内学校(新座・小平も)では年間を通じてマレーシアの児童画が展示されている。人物交流にも発展している。作品提供者に「国際友好賞状」-日本語とマレーシア語併記-を贈りますが、両国で6万人以上の方々が保持。朝霞では親子2代で保持されてる方も増えだしました。

～ご希望団体や学校にいつでも作品を貸しだしています。商店やオフィスには有料で貸し出します。

4. その他…生涯学習関連学習会や中間支援組織として認定や指定取得について行政書士が相談に乗っています。



2019年11月 マレーシアペナン州小学生来日
朝霞市・新座市・和光市・戸田市・練馬区で交流

第13回 みんな集合！音楽で一日楽しく遊ぼう！12月23日
知的障害児・者のパーカッショングループと南西部消防音楽隊コラボ

Q 認定を取得しようと思った理由を教えてください。

- ① 任意団体時から寄付を多くいただいていたので、法人化したら税額控除などでお礼をしたかった。

Q 認定取得までに苦労された点やエピソードをお聞かせください。

- ① 国税庁長官認定の時、当初の寄付率では認定申請ができなかったが、暫定法律になった際に、真っ先に申請し、2006年～今日まで、一度も途絶えることなく認定を取得しています。
- ② 国税庁時代は、最初の時には、国際協力活動について、微に入り細に渡り徹底審査でしたが、法人自身の経理見直しにつながり逆に助かりました。2年ごとの審査はとても寛大で、助かりました。
- ③ 5年になった際には、書類管理や住所管理など、かなりきついと感じています。

Q 認定を取得されたことで何か変化はありましたか。

- ① NPO活動に精通されている方には、大変信用が大きく一層信頼されます。
- ② 国際活動では、大変高く信用度が増しました。
- ③ 当市に於いては、一般のNPO法人と何も変化がないと思います。

Q 多くの方から寄付を集めるためにどんな工夫をされていますか。

- ① 情報をしっかりお届けすること。特にどの活動に寄付かを確認している。
- ② 領収書へ「感謝のメッセージ」を代表自筆でしたためている。
- ③ まだまだ努力が足りないと思っています。

Q これから認定等を取得したいと思っておられるNPO法人へのアドバイスをお願いします。

- ① 認定を取得すると、皆さんへ税額控除でお返しができる旨を詳しくお知らせする。
- ② あなたのご寄付が〇〇に役立っていますと説明できることが大切。
- ③ 領収書をタイムリーに作成してお届けすること。

(記入日:令和2年2月28日)